

ふれあい つながり かわら版

第3回小中一貫教育担当者会 (オンライン開催)

第3回小中一貫教育担当者会を、2月16日から2月25日まで、オンラインで開催しました。冒頭のあいさつでは、白鷺小中学校の山口校長先生から、コロナ禍による活動の制約を乗り越えるために大切なことは、小中互いの良さを発見し、尊重し合いながら交流を深めていくことであるというお話がありました。

実践発表① 大津中ブロック

〈分離型における共通の取組

<p>① 道徳の時間</p> <p>「はたらくまわること」が何かの「こと」の裏には、どんな意味があるのだろうか。</p> <p>② 道徳の時間</p> <p>「はたらくまわること」が何かの「こと」の裏には、どんな意味があるのだろうか。</p>	<p>③ 道徳の時間</p> <p>「はたらくまわること」が何かの「こと」の裏には、どんな意味があるのだろうか。</p> <p>④ 道徳の時間</p> <p>「はたらくまわること」が何かの「こと」の裏には、どんな意味があるのだろうか。</p>
---	---

教材分析シート (大津中)

大津中ブロックからは、小中一貫共通目標「地域を愛し、夢に向かって、仲間とともに高め合える児童生徒の育成」につながる取組がたくさん紹介されました。特に学力の向上に関する取組では、「めあて」「まとめ」「ふりかえり」の重視、対話を取り入れた授業、道徳

テーマ:人	テーマ:未来
ふるさと香寺に生きる私。地域を知り、自分を知り、人と人とのつながりを大切にします。	目の前の課題に様々な手法で取り組む。世界に目を向けて働く・生きていく。
身に付く力	身に付く力
自己理解を深め、仲間や地域とのつながりを大切に、自分の可能性を高める。	①仲間たちと共に地域教育教材を活用し、課題に意欲的に取り組む。 ②世界に目を向けて、自分の将来を切り開き、蓄えた力を地方創生に生かす。

香寺中ブロックからは各学校の取組を中心とした紹介がありました。香寺中学校は歴史研究会の方を招いた地域学習、小学校や地域を巻き込んだシトラスリボン運動、実施方法を工夫した体育大会や文化発表会、中寺小学校は高校生との交流、工夫した集会活動、香呂小学校は手話教室をふまえた人に優しいまちづくりの学習、香呂南小学校は縦割り班清掃などが紹介されました。これらの取組は、香寺中ブロックのテーマ「人」「未来」に沿ったものであり、それぞれのテーマに定められている身に付く力が

実践発表② 香寺中ブロック

〈分離型における各校独自の取組

姫路市教育委員会
学校指導課
小中一貫教育・ICT教育推進係
(079)221-2120



科での「教材分析シート」の活用など、小中の先生方が、各学校で共通の方法による授業実践を進めていました。また、「自ら学習を計

画し、計画に合わせて家庭学習を行う」というねらいを共有した上で、「家庭学習集中週間」を各学校で同時期に行っていました。大津中ブロックでは、取組のねらいや方法を共通理解した上で、同じ取組を各学校で進めることを通して、目指す子供像の実現を図ろうとしています。学校数が多く、小中一貫教育を進めることが簡単ではない他の1中複数小ブロックの取組の参考になる発表でした。

意識されています。このようにテーマや身に付く力を共有することで、学校独自の取組もブロックとしての一貫性ある取組となります。紹介された取組のほとんどが、後に提出されたブランドカリキュラムにも記載されていました。各取組を単体ではなく体系的に位置づけることが重要であることが示された発表でした。

◇ 城東小学校の太田校長先生からのご講評を踏まえ、離れていてもできる小中一貫教育について、次のように整理しました。各ブロックの今後の推進の参考になると思います。

離れていてもできる小中一貫教育

- ・「目指す子供像」にせまる共通の授業の進め方を各校で実践することで、離れていても小中一貫教育ができる。
- ・学校ごとでそれぞれ異なる取組も体系的に位置付けることで、離れていてもできる小中一貫教育になる。
- ・「目指す子供像」「付きたい力」に応じてブランドカリキュラムに体系的に位置付けることで取組の形骸化を防ぎ、教職員が入れ替わっても持続可能な小中一貫教育となる。

城西小学校の松岡校長先生の閉会あいさつでは、ブランドカリキュラムの作成や活用の際に、先生方の熱意や思いを盛り込み、協働して取り組む中で、豊かな学びを実現させてほしいというお話がありました。

◇ 今年度もコロナの影響により活動が制限されたにもかかわらず、先生方には小中一貫教育の推進にご尽力くださり、ありがとうございました。厳しい状況は続きますが、来年度もブランドカリキュラムの作成や活用を通して、各ブロックにおける目指す子供像の具現化が進むことを願っています。